

本校の桜『暁鐘』が松前公園へ里帰り！(2月20日)



本校には校名の名を冠した『潮陵』という名の桜と、校歌の歌詞の中にある『暁鐘』という名の桜があります。

これは、松前の桜博士と呼ばれている浅利政利氏が、同郷の松前出身である本校4期卒業の作家岡田三郎氏が作詞した校歌『ああ潮陵に暁鐘は鳴る』に感銘され、桜の新種に『潮陵』、『暁鐘』と命名され、その桜を平成8年5月の体育館改築の際にご寄贈いただいたことに由来します。

本校 湯田恭文校長は、校名や校歌の歌詞が付された樹が本校にあることに感銘され、次の様に述べられています。

「・・・『潮陵』は記念館横に2本が、『暁鐘』はテニスコートの下に1本が植樹されています。校名や校歌名が付された樹を持つ学舎が日本にいくつあるでしょうか？ それが校地内にあり、いつも生徒達の活動を見つめ、学校を見守ってくれていることに言いしれぬ感動を覚えます。」

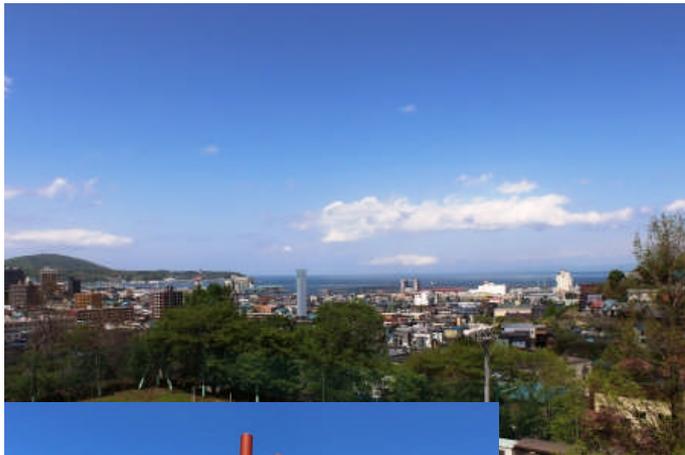
「潮陵生は皆、心の中に自分だけの桜を持つことができます。この二つの木が将来もっと成長して、大樹となって広く枝葉を伸ばした時、その下で生徒達が学び、集い、部活動や行事に夢中になり、思い出を刻むことを嬉しく思うとともに誇りを持たなければならないと思います。」

(『潮陵クラブ会報 第78号』2013年8月、11頁)

今回の採穂は、松前公園で『暁鐘』の苗木を一層増やすことを目的に、松前町商工観光課の方々2名が、はるばる本校まで来校されて実現しました。さらに手入れもしていただきました。この場をお借りして感謝申し上げます。



記念館横の暁鐘



↑校舎屋上から
日本海を望んだ
ところ

↑校舎屋上
にある「暁鐘」の鐘。
毎日 8:05 分と 17:25
分にこの鐘が校歌を
奏でます。

校歌の歌碑。→
台座も含めて約 15
トンあります。

